

# 「第6回「地域発『活力・発展・安心デザイン』実践交流会」 in 国東 資料

## 「地域とともにある学校づくり 玖珠中の提案」

平成25年2月23日

コミュニティ・スクール

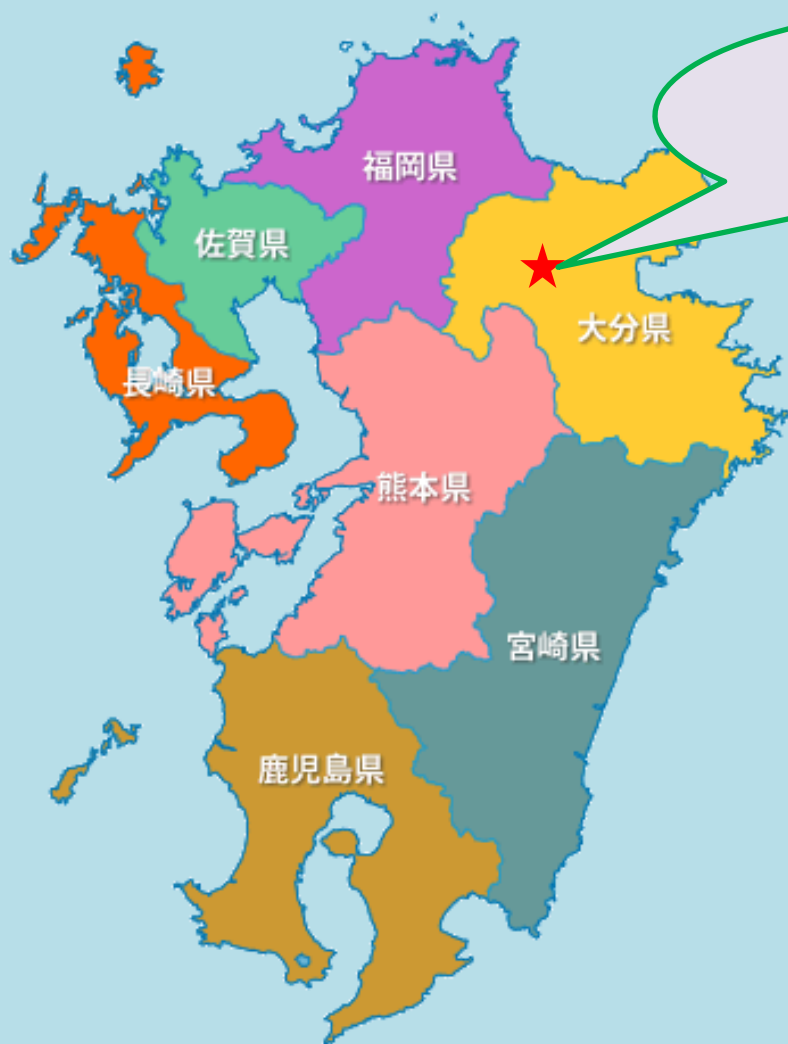
大分県玖珠町立玖珠中学校

校長 梶原 敏明

# 次第

1. コミュニティ・スクールとは
2. コミュニティスクールの導入の目的
3. コミュニティスクール導入のプロセス
4. コミュニティスクールを導入した成果
5. これからの地域とともにある学校づくりの  
目指す方向

# 大分県西部の**玖珠町**にある コミュニティ・スクールです。



## 玖珠町

- 人口 1万7千人超
- 小学校9校、中学校6校



# 地域とともにある学校づくり

- **コミュニティ・スクールとは**
- **学校運営協議会を設置して**
- 保護者や地域の声やニーズを学校運営に反映する。
- 保護者や地域が一定の権限と責任をもって学校運営に参画し、学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現に取り組む。

# PTAとコミュニティスクールの違い

## ・ P T A とは

- ・ 学校と家庭・地域をつなぐ役割を持ち、学校の教育活動に協力を行う社会教育活動を目的とする社会教育団体。

## ・ コミュニティ・スクールとは

### ・ 学校運営協議会を設置して

- ・ 合議制の機関であって、法律に基づき、学校運営、教職員人事に関与する一定の権限と責任をもって学校運営に参画し、校長は、学校運営協議会が承認する基本的な方針に従って学校運営を実施する。

# 学校、家庭・地域等の相互の連携協力

【教育基本法第13条】

- これまでの家庭教育は、子どもの成長に従って、**連綿と祖父母や親及び地域住民**から、日本の伝統文化や規範意識、礼儀・作法などを、**生活習慣**の中で**伝承**してきた。
- 子どもは、親や兄弟・姉妹、地域住民から、人との接し方など、**学校教育**では教わらない事柄を、**生活**を通して習得してきた。
- 近年、**少子化、核家族化**にも伴い、**物心付く以前の家庭教育の文化**が、子に伝え難い傾向が現れてきた。

# コミュニティ・スクールへの期待

## 地域の活性化の循環システム

コミュニティ・スクールを導入すれば  
学校が変わる（変われば）

↓  
教師が変われば

↓  
子どもが変わる（変われば）

↓  
家庭が変わる（変われば）

↓  
地域が変わる（変われば）

↓  
町が変わる

# 玖珠中学校コミュニティ・スクール（学校運営協議会）

## 学校運営協議会



### 【目的】

○保護者や地域の皆さんなどが一定の権限と責任をもって学校運営に参画することにより、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、よりよい教育の実現に取り組むこと。

### 【位置付け】

○教育委員会が設置する組織であり、委員の身分は非常勤特別職の地方公務員



承認

説明

意見

学校教育目標等  
学校運営の基本方針

教育活動

学校運営

支援

依頼

・市区町村  
教育委員会

学校の指定  
委員の任命

学校運営に  
関する意見

人事に関す  
る意見

都道府県  
教育委員会

教職員の人事  
の決定（学校  
運営協議会の  
意見を尊重）

意見

説明

## 玖珠地区コミュニティ運営協議会

地域人材が学校支援

協育コーディネーター

保護者・地域の皆さん

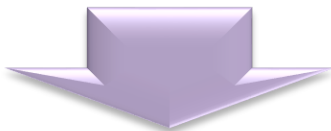




“**玖珠中学校のコミュニティ・スクールの最大と特徴**”！！

# 学校と地域を結びつける手段として

委員の人選



自治会との情報共有

**学校運営協議会の会長が自治会の副会長**

学校運営協議会 会長



自治会  
(玖珠地区コミュニティ運営協議会)  
副会長

融合＝協働＝パートナーシップ

学校

地域

玖珠地区コミュニティ  
運営協議会

学校支援本部  
協育コーディネーター

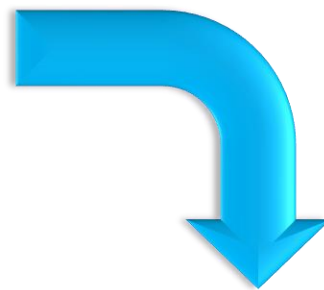
しかけ屋



# コミュニティ・スクールを導入した経緯

## 玖珠町の教育行政の重点方針

- ①基礎学力の定着
- ②規範意識の徹底と自己肯定感の養成
- ③基礎体力の向上
- ④教職員のスキルアップ等



学校が荒れ、生徒が落ち着いて授業を受けられる状況でなかったなど生徒指導上の課題が多くあった。



学力・体力の低下の要因

# 学力向上の課題の分析と対策

## ☆学習指導を生徒指導と連動した取組

子どもたちの授業態度(学習規律)の改善を最重点に置き、生徒指導の充実

## ☆学習習慣および生活習慣の改善

全国学力調査の分析にもあるように、「学力を高める」ためには、「生活習慣、学習意欲、学校の実践、家庭や地域のよさ」など「地域の支えや家庭生活」が学力を支える上で重要



内部環境、外部環境の課題解決には、学校だけでは限界があり、保護者や地域と連携し、子どもを支える仕組みとして、『コミュニティ・スクール』を導入

# 学習指導と生徒指導を連動した 総合的推進

教務主任・生徒指導主事等

担任・担当等

学力向上プランの認識の徹底  
学習指導方針の明確化

学習指導部  
(教務・研究)

生徒指導部

生活態度の組織的指導  
生徒指導方針の明確化

校長・教頭

1学年部

2学年部

3学年部

学力向上プランの総合的実施

# 学力向上の取組

- 基礎学力の定着 ← 玖珠町教育行政重点方針

## ☆学力の状況(分析)

## ☆学力向上の取組の重点フレーム

1 学習に集中できる雰囲気づくりのための学習規律の徹底

2 授業改善と学習環境づくり

3 基礎・基本の学力定着の取組

# 保護者や地域と連携・協力した学力向上対策

## 学校と保護者や地域住民が目標を共有した学校づくり

### 1 学校評価を活用して評価と改善が機能するシステムとして

- ①生徒による学校評価
- ②保護者による学校評価
- ③地域住民(自治委員)による学校評価

### 2 地域の人材が学校を支える組織として

- ①『夢かけはし塾』(ゲストティチャー)の積極的活用
- ②「おやじの会」や地域住民のネットワークによる様々な職業の専門的技能集団等のボランティアの活用

### 3 保護者や地域への情報発信することで情報を共有するシステムとして

### 4 保護者や地域住民からの意見や要望等を受けとるシステムとして

# コミュニティ・スクールの制度を効果的に導入する上で重要なこと

## 内部環境、外部環境の分析

### 教職員並びに生徒の思い

- ①教職員 = 学校経営などに対する意識調査等の実施
- ②生徒 = 学習指導や生徒指導に対する学校評価

### 学校に対する保護者や地域住民の思い

- ①地域の = 地域の会議等に参加し地域理解
- ②保護者や地域への = アンケート(学校評価)を実施
- ③保護者や地域への = 学校教育活動の情報の提供

## 内部環境（学校）における課題

**「開かれた学校」になるためには、このような課題を解決しなければ・・・**

- ①保護者や地域の意見や願いを反映する仕組みづくり
- ②外部からの協力・支援を受け入れることの教職員の意識
- ③学校教育活動の地域等への積極的な情報提供（説明責任）
- ④保護者や地域との相互の情報交換等で情報の共有化
- ⑤地域行事などに生徒が参画することの学校の理解と協力



# コミュニティ・スクールを導入するにあたっての最大の課題

## ★コミュニティ・スクール導入に対する教職員の不安（先入観）

\* 地域住民や外部が学校教育活動に関わってくると

◇ 仕事が増える

◇ これまでの仕事の流れが壊れる

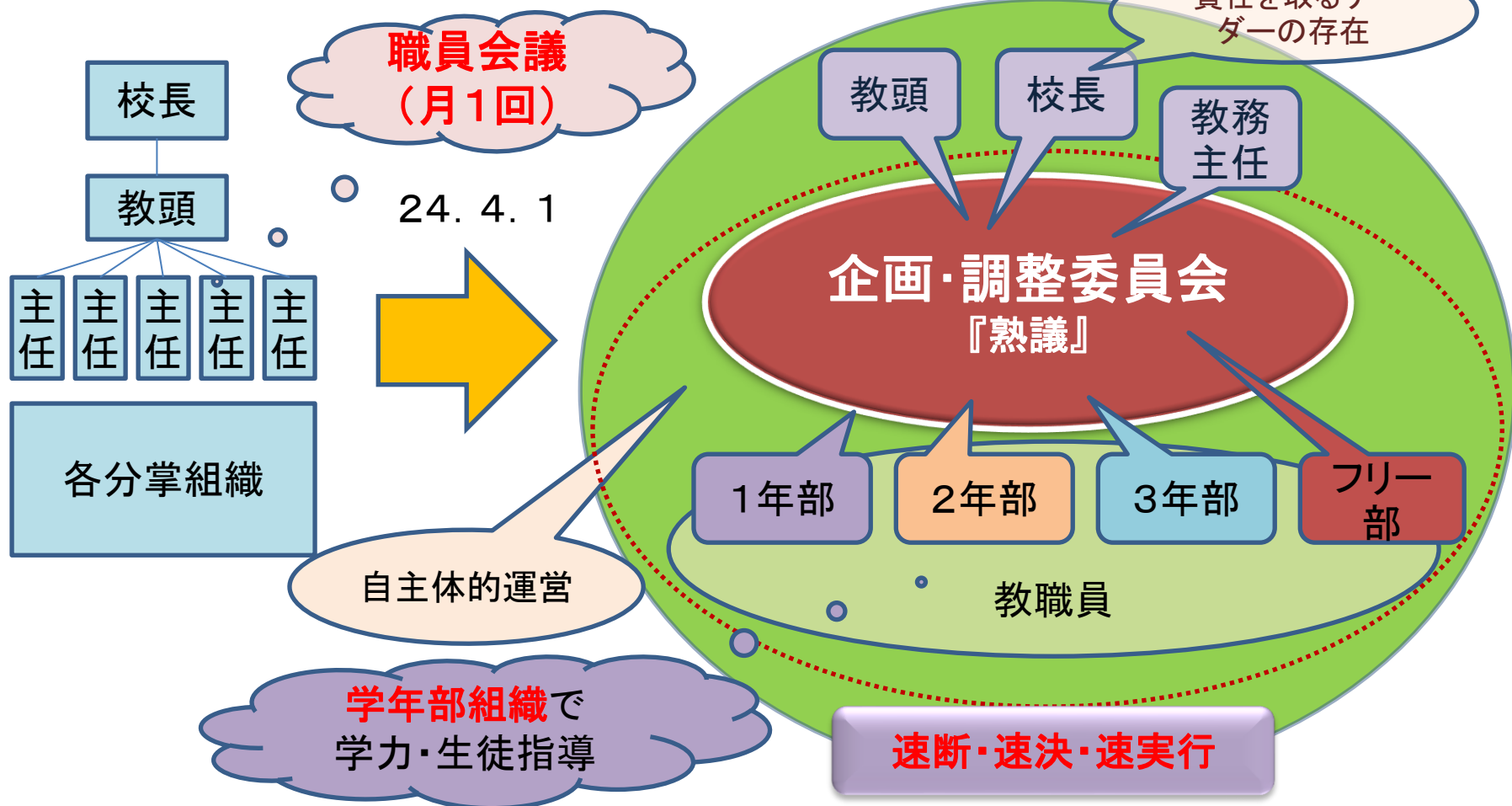
◇ 人事に関する意見

◇ 授業等を見られることの不安など

# 学校組織の見直し教職員の意識改革

職務型校務分掌組織

課題・目標達成型校務分掌組織



# 外部環境（保護者や地域）の課題

- ①地域住民が学校に対し意見や要望を申し出ることには遠慮。
- ②地域は学校に協力したいがその機会がなかった。
- ③地域と学校の情報交換等の交流の機会がなかった。
- ④小学校は身近であったが、中学校は少し遠くなった（敷居が高いなど）という保護者、地域住民の意識があった。
- ⑤子どもが在籍していた時は学校に協力してきたが、卒業後は関心が薄れた。

# 学校教育目標実現のための実践

平成24年度 玖珠中学校 教育目標

『あたりまえのことを、あたりまえにできる生徒の育成』



- ①学習に励む    ②あいさつ・返事    ③清掃    ④服装

学校（生徒）と保護者及び地域住民が教育目標を共有し、  
教育活動を実践していく。

学校運営協議会



熟議

# 学校はどう変わったのか

学校組織（意識改革）の機能の充実

## ★学校運営協議会を設置して

- 教職員が運営協議会委員となったことで、  
教職員が保護者や地域住民の思いを直接知る  
「仕組み」が出来た。コミュニケーション力の育成
- 1. 教職員が学校経営に参画しているとの当事者意識
- 2. 学校組織マネジメントによるミドルリーダーの育成
- 3. 保護者や地域住民からの意向等を反映するシステム
- ☆「教育は人となり」 教育的な熱情・真剣さ・愛情・使命感

# 保護者や地域はどう変わってきたのか



**保護者や地域の意向が反映される仕組みが出来た。**

1. 地域が学校を支援する仕組みづくり = **地域全体で学校を支える組織**
2. 保護者や地域は**学校に協力したいと待っていた。**→ そのチャンスが出来た。
3. 保護者や地域は学校に協力したことで、「**学校のために役に立っている。**」と達成感・自己満足感が得られ、益々協力的なってきた。= **当事者意識、参画意識**
4. 「おやじの会」や**地域住民のネットワーク**により、**様々な職業の専門的スキル集団**が**学校を支える組織**として活用できるようになった。

**☆学校からの情報発信が、学校の信頼をつかむ。**

# 学校・家庭・地域とともに協働・連携

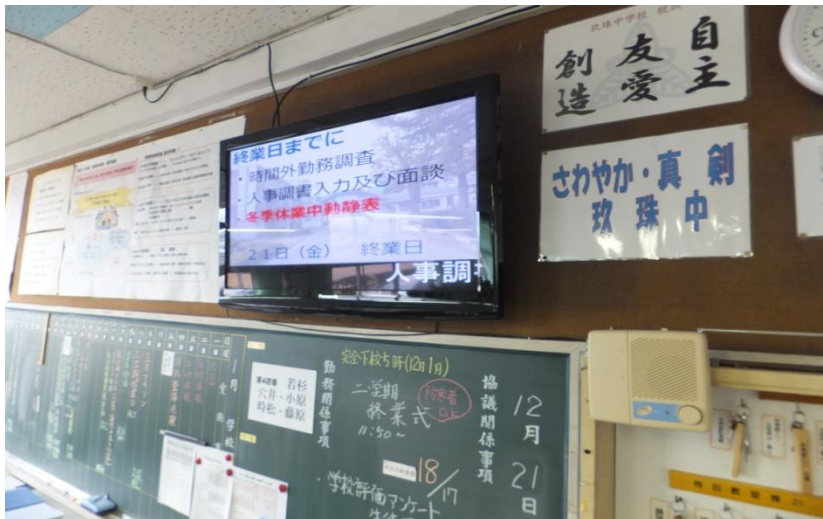
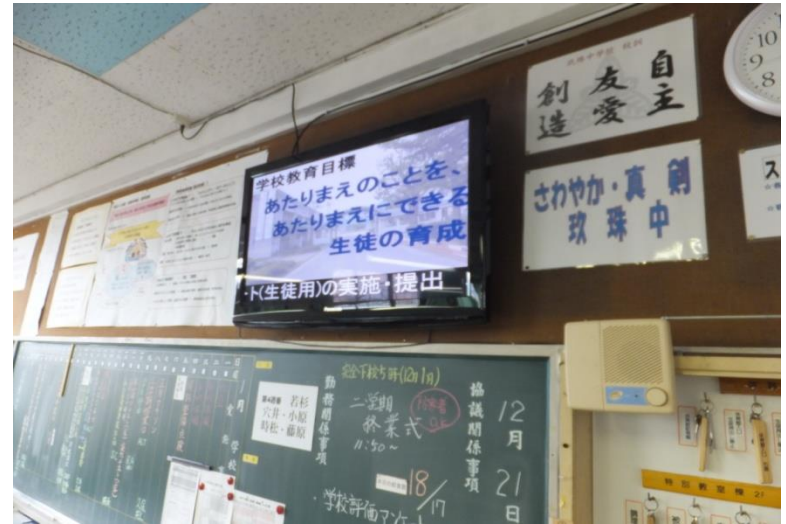
## 地域が学校に協力・支援したこと

- ・運動会の「盆踊り」授業で盆踊り保存会の皆さんが指導。
- ・自治委員と生徒代表との「町づくり」についての意見交換会。
- ・地域ボランティアと生徒によるトイレをきれいにする活動。
- ・中学生を取り巻く安心・安全な環境づくりについての情報のネットワークシステムづくりや地域住民への啓発活動の取組。

## 学校、生徒が地域の一員として貢献

- ・地域の祭り、自治会館祭り、機関庫祭り、町農業祭、道の駅祭り等に吹奏楽部、美術部等が出演。
- ・町体に地域代表(中学生、教職員)として出場。
- ・学校のテント等の機材を地域行事などに積極的に貸出。
- ・地域のランドマークである「伐株山」の植樹活動。

# 職員室前面壁にテレビを設置





# 玖珠地区コミュニティ運営協議会役員と玖珠中生徒会 との意見交換会『住みたくなる町・誇れる町づくり』



# 地域人材ボランティアを活用した校内設置の塾(毎週水曜、学習補充)

## 図書館に設置した塾の看板



## 夏休みの補充学習



## 私塾の先生の数学が好きになる



## 新聞記者によるメディア教育



# 職員室前質問コーナー・「夢かけはし塾」授業



# 図書館を活用した調べ学習

## IPS細胞について(理科)



# 図書館活用調べ学習からポスターセッション



# 時代の変化を見据えて子どもを育てる

## 国際交流体験の拡大 (APUでの交流体験学習)



## 朝自習（読書タイム）の様子



# ◇職員室前に質問コーナー (自習学習テーブル設置)



試験前は大盛況。放課後・昼休みも利用者あり。  
3年生が多いですが、どの学年も利用しています。



# 警察との連携、いじめ・犯罪被害から子どもを守る

学校運営協議会での犯罪被害の警察講話



県教員生徒指導推進室：ネット犯罪講話



警察の交通安全指導



# コミュニティ・スクールとしての具体的な実践例

学校運営協議会の様子、毎月開催



地域・玖珠農業高校指導のサツマイモ  
植え付け



生徒・保護者・地域ボランティアによる校  
内草刈り作業



地域ボランティアによる校内剪定作業



# 保護者・地域住民・企業等ボランティアによる緑のカーテン設置・撤去作業 地域の人材の活用(プロ集団)

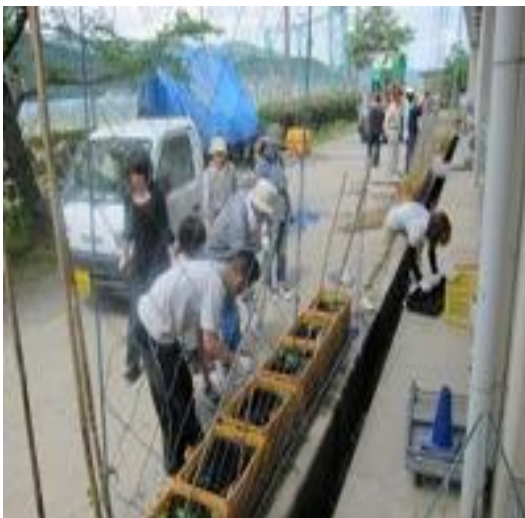
## 保護者・地域ボランティア



## 緑のカーテンネット屋上設置



## 緑のカーテン苗植え付け



## みどりのカーテン撤去作業



## 九電工企業ボランティア



## 地域の行事・お祭りに中学生の参加(地域の貢献活動)

自治館祭り(吹奏楽部地域支援活動)



地蔵講祭り(文化部作品展示)スーパー内



お祭りに出品した文化部作成のゲルニカ  
9m × 4m



地蔵講祭り(中学生バンド)



# 地域の盆踊り保存会の皆さんの指導 運動会での盆踊り



# 地元企業・おやじの会・保護者による校内整備事業 (校内樹木剪定)



# 遠足で校区の外部人材を活用して、地域の伝説の語り部



# 朝のあいさつ活動（生徒会・野球部・教職員・保護者等）



# 学校運営の評価と公表

## 学校としての説明責任

- 教育活動の組織的・継続的改善を図るための手立てとして、生徒、保護者、地域住民、教職員からの学校評価を実施

## 評価の目的は

- 「外部者によるチェック」ではなく、地域・保護者から信頼を獲得して、連携・協力によって学校の改善に生かそうとする手段として。



# コミュニティ・スクールアンケート結果

## 学校評価に関するアンケート

### 内容1：家庭学習、あいさつ・返事、服装、マナー等

- ・あいさつや返事、服装、頭髪の家庭で指導は80%できている。
- ・家庭学習の習慣を身に付ける指導では60%と低い。
- ★ 規則正しい生活習慣と1時間以上の家庭学習が大切である。

### 内容2：学校の取り組みに対する評価

- ・教育活動に対する信頼 =92% (よく) あてはまる
- ・願いに応じる学校づくり =92% (よく) あてはまる
- ・家庭や地域との連携 =86% (よく) あてはまる
- ・学校を知らせる取り組み =90% (よく) あてはまる

保護者対象(回答率:95%超)

# コミュニティ・スクールに関するアンケート

コミュニティスクール・アンケートの結果  
回答者数＜保護者・地域（自治委員）＞

	第1学年	第2学年	第3学年	計	地域	合計
回収数	49名	55名	73名	177名	61名	238名
回収率	94%	95%	96%	95%	81%	91%

Q1 玖珠中はコミュニティ・スクールとしてスタートしたことを  
知っていますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計 (人)
はい	114 (67%)	36 (62%)	150
いいえ	56 (33%)	22 (38%)	78

保護者の67%は知っている。

### Q3 玖珠中の教育内容や学校行事などの教育活動に関心がありますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計 (人)
ある、どちらかといえばある	143 (88%)	44 (76%)	187人
ない、どちらかといえばない	10 (6%)	7 (12%)	17人
わからない	10 (6%)	7 (12%)	17人
合計 (人)	163人	58人	221人

#### 保護者：

「ある」「どちらかといえばある」との回答する割合は80%を超えており、関心を示していることがわかる。

#### 地域：

7割以上が関心を示している。

## Q4 珍珠中は地域の願いや声を聞いて教育活動をすすめていると思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかというと思う	126 (73%)	29 (50%)	155
思わない、 どちらかというと思わない	14 (8%)	8 (14%)	22
わからない	33 (19%)	21 (36%)	54

173人

58人

### 保護者

70%以上が地域や保護者の声を聞いて教育活動をすすめていると「思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している。（そう思わないと回答する割合は10%未満である。）

地域；「わからない」が多いが、「どちらかというと思う」と同数である。

Q5 珍珠中は保護者や地域の方々との連携・交流のために努力している  
 と思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかというと思う	145 (84%)	29 (52%)	174
思わない、 どちらかというと思わない	16 (9%)	8 (14%)	24
わからない	11 (7%)	19 (34%)	30

172人

56人

**保護者**

80%以上が地域や保護者の方々との**連携・協力のための努力**をしていると「**思う**」「**どちらかといえばそう思う**」と回答している。(そう思わないと回答する割合は10%未満である。)

**地域**；「わからない」を「**思う・どちらかというそう思う**」が上回っている。

## Q6 玖珠中は教育活動や子どもの様子を地域に知らせる努力をしていると思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかといえば思う	128 (75%)	37 (64%)	165
思わない、 どちらかというと思わない	25 (15%)	10 (17%)	35
わからない	18 (10%)	11 (19%)	29

171人

58人

### 保護者

75%が「思う」「どちらかといえば思う」と回答しているがその割合は他の項目より低くなっている。

地域；「思う」割合が一番（3割以上）である。「学校だより」の影響が考えられる。

## Q8 玖珠中の生徒はよくあいさつをしますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかといえば思う	139 (81%)	32 (54%)	171
思わない、 どちらかといえば思わない	27 (16%)	17 (29%)	44
わからない	6 (3%)	10 (17%)	16

172人

59人

### 保護者

「思う」「どちらかといえぎ思う」との回答は約80%である。「思わない」「どちらかというと思わない」という回答15%を受け止めたい。

地域；5割以が挨拶を評価している。

## Q17 機会があれば、学校へボランティアとして協力や支援したいと思いますか？

	保護者 (%)	地域 (%)	合計
思う、 どちらかといえば思う	127 (80%)	47 (80%)	174
思わない、 どちらかといえば思わない	16 (10%)	8 (14%)	24
わからない	16 (10%)	4 (6%)	20

159人

59人

### 保護者

8割をこえる保護者が学校に対して協力やボランティア等の支援する気持ちを持っている。(声) 時間の許すかぎり支援したい (2年生保護者)  
地域も8割をこえ支援する気持ちを持っている。保護者以上に関心がある。



# コミュニティ・スクールを導入した成果

子どもたちはどう変わっているのか

学校と保護者や地域住民が情報を共有



家庭や地域と協働・連携した指導

あいさつ、服装、態度がよくなった＝地域の声



学校が地域の信頼を得ることにつながる

地域の行事等に参加することで、地域から期待を持たれ、それを、子どもが感じることで、子どもの意識が変わって



地域の一員として

# 学校を拠点としたスクール・コミュニティが目標

学校と地域双方にメリットを生む

しかけ

学校が地域と融合＝協働＝パートナーシップ

- ①地域住民の学校運営への参画の促進
- ②地域力(地域の人材・資源)を活かした学校支援
- ③学校力を活かした地域づくり(地域貢献など)

☆【童話の里づくり】＝【人づくり】:学校と家庭、地域住民が学習者であるとともに、指導者の役割を担い、町民一人一人が「夢を持ち」、個々と地域の課題を解決する。  
☆誰もが生涯にわたって学習でき、安心して安全に学び働き暮らせることに寄与する学校と地域をつくること。